

コミュニティふらっと運営事業者意見交換会における主な意見

名称	コミュニティふらっと運営事業者意見交換会
対象	コミュニティふらっと（阿佐谷、東原、馬橋、永福、成田）の運営事業者の職員
参加者数	15名
開催日時	令和5年1月30日 午前10時30分～午後0時00分
場所	コミュニティふらっと東原 多目的室
意見交換会の目的	運営事業者の視点から、コミュニティふらっとの施設や運営などに関する見解を聞くため
主な意見	<p>コミュニティふらっとの設置目的について</p> <p><①全ての世代の利用が進んでいるか></p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の成り立ちや立地、時間帯によっても異なるが、乳幼児親子や小中学生、社会人、高齢者など、多世代の方が利用している。 ・高校生の利用はあまり進んでいないように思う。 <p><②多世代の交流が進んでいるか></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティふらっとの利用団体に声をかけ、高齢者が小学生に折り紙を教えるという場を設けることで交流を実現した例がある。 ・イベントのみにより多世代交流を促進するということではなく、日々の運用も含めて考えていく必要がある。 <p><③施設の特徴などを踏まえた運営上の創意工夫について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生が施設に入りやすいように、テーマを決めて施設の壁面を飾り付けている。 ・コミュニティふらっとは他の集会施設と比べ、地域でつくっていけるアットホームな施設であるため、その点をもっと周知していけるとよい。 <p>ゆうゆう館の機能継承について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆうゆう館の機能継承について、ゆうゆう館とコミュニティふらっとの差異については、丁寧に対応していく中で概ね納得いただいていると感じる。 ・利用者から施設について意見をいただくこともあるため、新しく施設を作る場合には、利用者からよく聞き取りをした方がよいと思う。 <p>コミュニティふらっとの良いところ、改善すべきところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者専用施設であるゆうゆう館から、多世代型施設であるコミュニティふらっとへ変わったことにより、高齢者以外の利用者が利用しやすくなり、施設が有効活用されていると感じる。 ・ゆうゆう館からコミュニティふらっとに変わったことで、最初は身構えていたが、使っていくうちに満足していただけるようになってきていると感じる。 ・「コミュニティふらっと」という施設の周知方法については、もう少し検討の余地があるのではないか。

高齢者団体優先枠について

- ・希望が重複する場合もあるが、空き枠で十分対応できていると感じる。
- ・ゆうゆう館と異なり、コミュニティふらっとでは利用直前に部屋を予約することができないため、その点意見をいただくことはある。
- ・「誰でも利用できる施設」というコミュニティふらっとのコンセプトを考えると、高齢者以外の世代向けにも枠を確保するのも良いと思う。

コミュニティふらっと4施設利用者（一般利用者）意見交換会における主な意見

名称	コミュニティふらっと4施設利用者（一般利用者）意見交換会
対象	コミュニティふらっと（阿佐谷、東原、馬橋、成田）の施設利用者
参加者数	19名
開催日時	令和5年5月28日 午前9時30分～午前11時00分
場所	杉並区役所本庁舎 第4会議室
意見交換会の目的	利用者の視点から、施設再編及びコミュニティふらっとの現状と課題に関する見解を聞くため
主な意見	<p>区民集会所、ゆうゆう館等のコミュニティふらっとへの再編について</p> <ul style="list-style-type: none"> 誰でも使える施設をつくる、という考え方自体は悪くないが、貸室を借りるだけではコミュニティは作られない。多世代を交流させたいのであれば、しかけが必要である。 コミュニティふらっとができることで、どんな良いことがあるのかが説明できていない。それが原因で「今のままでよい」と思われているのではないか。 児童館のような専門性の高い施設を集会所に集約する必要があるのか。 社会・生活が変化している中で、周りに相談でき、コミュニケーションがとれる場は必要である。 <p>コミュニティふらっとの現状と課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> 「コミュニティふらっと」という名前や施設の外見だけでは、どのような施設かが分かりづらい。 世代により利用時間帯が異なるため、世代間の交流を実現するのは難しいと思う。 地域の団体の力を借りて、イベントを考えてみるとよいのではないか。 あくまでもコミュニティふらっとは区の施設であるため、事業者運営を任せきりにするのではなく、区がしっかり介入すべきである。 子どもが使うには値段が高く、日常的に使うことは難しいが、逆に、東原児童館がコミュニティふらっとになり、日曜日でも利用できるようになったという良い点もある。一概に全てが悪いということではないと思う。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域によってニーズが異なるため、地域の特徴を生かせる施設をつくってほしい。 「施設をどのように使うか」は行政が決めるべきではない。利用者目線で使いやすい施設をつくるべき。 コミュニティふらっとに、地域と繋げてくれる人を置くなど、地域コミュニティの入口になればよいと思う。施設利用だけでなく、地域活動をしている人たちの拠点、活動の場になるとよいのではないか。

コミュニティふらっと4施設利用者（高齢者団体）意見交換会における主な意見

名称	コミュニティふらっと4施設利用者（高齢者団体）意見交換会
対象	コミュニティふらっと（阿佐谷、東原、馬橋、成田）の高齢者団体に所属する施設利用者
参加者数	40名
開催日時	令和5年5月28日 午後1時00分～午後2時30分
場所	杉並区役所本庁舎 第4会議室
意見交換会の目的	利用者の視点から、施設再編、ゆうゆう館の機能継承及びコミュニティふらっとの現状と課題に関する見解を聞くため
主な意見	<p>区民集会所、ゆうゆう館等のコミュニティふらっとへの再編について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所も変わり遠方で通えなくなる懸念もあり、統合によって施設が減る点については反対である。 ・区民集会所とコミュニティふらっとの違いがよく分からない。 ・コミュニティふらっとの多世代の利用促進は賛成である。 ・子どもたちや家族ぐるみで利用ができて、見ているだけでコミュニティが一つになっている感じがする。 <p>ゆうゆう館の機能継承について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆうゆう館と比べ、利用の手続きが煩雑になった。 ・ゆうゆう館からコミュニティふらっとに移行する際に漠然とした不安はあったが、いざ、コミュニティふらっとに移行して活動してみると不安はなくなった。 ・施設の運営の仕方が変わってしまい、慣れるのに時間がかかる。 ・ゆうゆう館は、自宅に帰ったような温かい対応だった。今は事務的でちょっと違う雰囲気だ。 ・不便を感じておらず、そのまま利用できている。 <p>コミュニティふらっとの現状と課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント時には、多世代が交流している状況は見受けられるが、日常では見たことがない。交流する場面を増やす仕掛けやPRなど工夫する必要があるのではないかと。 ・活動の時間帯が世代によって異なるため、一緒にイベントをすることは難しいが、同じ施設を多世代が利用しているということだけでも、施設の雰囲気が変わって良いと思う。 ・ゆうゆう館と比べて、ホームページ等でのPRが少ない。多世代型施設として若い世代の利用も想定するのであれば、一層ホームページ等でのPRを行うべきである。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付職員の対応が素晴らしいため、気持ちよく利用できている。 ・講習会の講師を地域住民に頼むこと等で、地域の交流が進むのではないかと。 ・あまり積極的に他の世代との交流は望んでいない。

コミュニティふらっと永福利用者意見交換会における主な意見

名称	コミュニティふらっと永福利用者意見交換会
対象	コミュニティふらっと永福の施設利用者
参加者数	14名
開催日時	令和5年6月30日 午後1時30分～午後3時00分
場所	コミュニティふらっと永福 第1・2・3集会室
意見交換会の目的	利用者の視点から、施設再編及びコミュニティふらっとの現状と課題に関する見解を聞くため
主な意見	<p>区民集会所、ゆうゆう館等のコミュニティふらっとへの再編について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設を失くすときは反対の声も多くあると思うが、長期的に見れば再編は必要なことだと思う。再編に当たっては、区は具体的な考えを区民に周知しつつ、利用者の意見を吸い上げることが必要である。 ・施設を集約することで、地域の施設の数が少なくなってしまうのは困る。 ・そもそも集会施設は、多くの人に使ってもらうことが目的につくられたものなので、施設の再編は進めつつも、利用者が施設を使いやすいような工夫をすべきである。 ・複合施設の特徴を生かし、色々な目的の人がきて、利用することができると良い。 <p>コミュニティふらっとの現状と課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆうゆう館や区民集会所は、古くから使っている人が多いイメージで入りづらかったが、コミュニティふらっとは、比較的オープンなイメージがあり入りやすかった。 ・図書館との複合化は良い面もあるが、図書館の静かな環境の影響でラウンジでも静かにしないといけない雰囲気があり、話をしづらいつと感じることがある。 ・同じ施設の利用者というだけでは交流やつながりは生まれなため、仕掛けや工夫が必要ではないか。 ・講座やイベントについては興味のあるものがあれば参加したいと思っているが、情報が入ってこない。ホームページなども含めて、情報にアクセスできる方法を増やしてほしい。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この施設は使い勝手が良い。身近なところに活動できる場所があってよい。 ・中高生も含め、他の世代と交流ができるのは願ってもいないことである。 ・コミュニティふらっとを「身近な地域」のための施設とするのもよいが、コミュニティふらっと同士の横の交流があっても良いと思う。 ・若い人たちがラウンジで勉強している姿を見られるのは良いことである。このような施設がもっとできると良い。

浜田山会館利用者意見交換会における主な意見

名称	浜田山会館利用者意見交換会
対象	浜田山会館施設利用者
参加者数	26名
開催日時	令和5年7月4日 午後2時30分～午後4時
場所	浜田山会館 ホール
意見交換会の目的	利用者の視点から、施設再編及び集会施設に関する見解を聞くため
主な意見	<p>区民会館、区民集会所、ゆうゆう館等のコミュニティふらっとへの再編について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集会施設、ゆうゆう館、児童館等、それぞれ施設の役割・機能が違うので、全て一緒の施設にするのは無理があるのではないかと考える。 ・多世代交流は理想であるが、実際は高齢者と子育て世代のギャップがあると考えられる。そのためには、サロン、カフェ等スマートで明るい仕掛けづくりが必要である。 ・コミュニティふらっとがどのように運用されるのか、区民はイメージできていない。 ・新しい施設に変わったことで、部屋が使いづらくなった施設がある。利用者のニーズをくみ取って設計をして欲しい。 <p>浜田山会館について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホールは、イベントやピアノの発表会をするのに丁度よい大きさで使いやすいため、残してほしい。 ・老朽化が進んでいる設備もあるが、改修時に全てを新しくするのではなく、使える設備は有効活用してほしい。 ・現在の部屋、値段、予約の取りやすさに満足しているので、現状維持を希望する。 ・ホールはオーケストラやコーラスも使っており、団体も多世代で構成されているので交流の場になっている。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆうゆう館の利用者も浜田山会館に移行してくるなら、部屋を増やす、部屋の大きさをコンパクトにする等、多くの人を利用できるようにしてほしい。 ・ゆうゆう館はかなり予約が多いと聞くが、浜田山会館利用者と一緒にすることで倍率が上がらないか心配だ。 ・パブリックコメントでは多くの意見が出ていたが、このように顔を合わせて直接に意見を言い合う場を設けるのも良いと思う。 ・他の利用団体と発表会のような場で交流するのは構わない。